令和 5 年度　いと勢認定こども園自己評価チェックシート

	評価項目	チェック項目	自己評価	備考
	Ⅰ－1　保育・教育内容			
1	全体的な計画の編成	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身やの発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している	(A)・B・C・D・E	
2	環境を通して行う保育、養護と教育の一体的	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	(A)・B・C・D・E	
3		一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状況に応じた保育・教育を行っている	(A)・B・C・D・E	
4		子どもが基本的な生活習慣を身に付けることができる環境の整備、援助を行っている	(A)・B・C・D・E	
5		子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活とあそびを豊かにする保育・教育を展開している	(A)・B・C・D・E	
6		乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している	(A)・B・C・D・E	
7		3歳児未満(1，2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している	(A)・B・C・D・E	
8		3歳以上児の保育・教育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育・教育の内容や方法に配慮している	(A)・B・C・D・E	
9		障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育・教育の内容や方法に配慮している	A・(B)・C・D・E	各専門機関と連携しながらすすめていったが、職員体制の都合により、計画を変更せざるを得ないこともあった。
10		長時間にわたる保育・教育のための環境を整備し、保育・教育の内容や方法に配慮している	A・(B)・C・D・E	
11		小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育・教育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している	(A)・B・C・D・E	
12	健康管理	子どもの健康管理を適切に行っている	A・(B)・C・D・E	園内において、園児の健康の維持や状態の把握は十分にできたが、検尿については一部、実施できていなかった。
13		健康診断・歯科検診の結果を保育・教育に反映している	(A)・B・C・D・E	
14		アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている	(A)・B・C・D・E	
15	食事	食事を楽しむことができるよう工夫をしている	(A)・B・C・D・E	
16		子どもがおいしく安心して食べることおできる食事を提供している	(A)・B・C・D・E	
	Ⅰ－2　子育て支援			
17	家庭との緊密な連携	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている	(A)・B・C・D・E	
18	保護者等の支援	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている	(A)・B・C・D・E	
19		家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている	(A)・B・C・D・E	
	Ⅰ－3　保育の質の向上			
20	保育・教育実践の振り返り(保育士等の自己評価)	保育士等が主体的に保育・教育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育・教育実践の改善や専門性の向上に努めている	A・B・C・D・E	

Ⅰ－1　保育内容	Ⅰ－2　子育て支援	Ⅰ－3　保育の質の向上
園の基本方針をもとに保育・教育を組み立て、子どもの育ちや様子を見ながら修正していく形をとっていた。特に配慮が必要な子が、集団の中でいかに安心して自分らしく生活できるかを意識し、職員間の話し合いを密にしていくようにした。	保護者や地域の子育て家庭に対し、地域の重要な拠点であるという意識を持ち、目的を持って取組んだ。園開放デーでは毎回、多くの来園者があり、当事者の思いの強さや実情に触れることができた。今後に反映させていきたい。	今年度は、クラス単位や以上児・未満児、全体、といろいろな形での話し合いの場を多く持つようにしたおかげで、パートや派遣など勤務形態の異なる職員同士も思いを近くすることができた。結果的に、一人ひとりの向上につながっていけた、と実感した。